

令和元年度行政評価 施策評価シート (平成30年度実績)

施策名 医療体制の充実

施策コード 030504

1. 施策の担当	
主管課	健康福祉部 健康推進課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第3章 やさしさとふれあいのあるまちづくり (安心・健康)	節 第5節 健康・医療
	施策	医療体制の充実	

基本方針
地域の災害、救急、周産期及び小児医療を担い、高度医療及び先進医療が安定的に提供できるよう支援します。

現況と課題
 ・りんくう総合医療センターは地方独立行政法人の特徴を活かし、地域医療機関との連携及び役割分担のもとで、高度・先進医療を提供する地域の中核病院として、周産期、救急（2次救急・3次救急）及び災害医療で広域的な役割も果たしています。
 ・近年の医療制度改革や診療報酬改定、医師不足など医療を取り巻く環境が厳しくなっており、公的使命を堅持するため、効率的な運営を求めていくとともに、安定的な医療の提供ができるよう支援する必要があります。
 ・平成30年4月実施の市民アンケート結果から判断すると、重要性が高い施策であり一定の満足度も得られている施策ですが、さらに満足度を上げる必要があります。

施策目標
対象（誰を、何を、どこを）
 市民及び医療圏住民

意図（どのような状態にしたいのか）
 泉州南部の初期救急、二次救急、周産期医療体制の充実を図る。

3. 市民ニーズ							
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
満足度（偏差値）	39.5						64.5
重要度（偏差値）	70.4						72.1

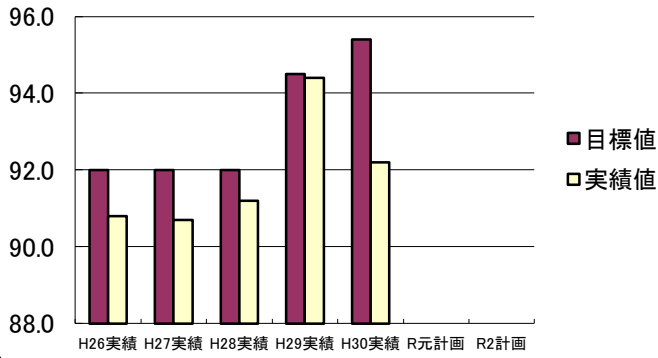
4. 施策にかかるコスト								
コストの内訳	単位	H29決算	H30決算					
	千円	8,376	6,948					
	事業費	105,766	105,828					
財源内訳	フルコスト	114,142	112,776					
	国庫支出金	0	0					
	府支出金	0	0					
	市債	0	0					
	その他	66,545	70,684					
	一般財源1（＝フルコスト－特定財源）	47,597	42,092					
一般財源2（＝直接事業費－特定財源）	39,221	35,144						

5. 施策の成果指標							
① 成果指標 1		病床利用率					
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	92.0	92.0	92.0	94.5	95.4		
実績値	90.8	90.7	91.2	94.4	92.2		
達成度	98.7	98.59	99.13	99.89	96.65		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
りんくう総合医療センターの入院の稼働状況を把握することにより、地域医療体制が充実されているかの指標となるため。		りんくう総合医療センターの中期目標値		ほぼ横ばいの90%を超える率を維持する。入院患者数は、127,266人で、前年度より微減する。			

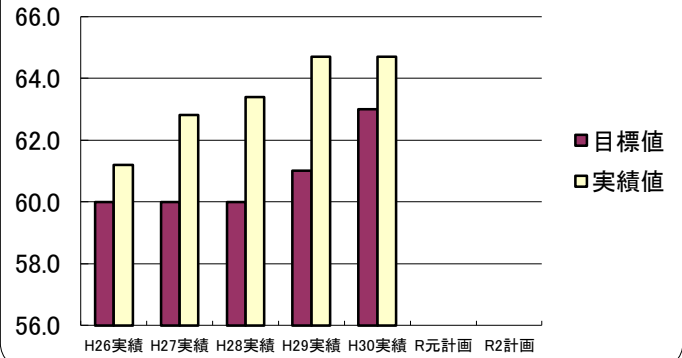
② 成果指標 2		紹介率					
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	60.0	60.0	60.0	61.0	63.0		
実績値	61.2	62.8	63.4	64.7	64.7		
達成度	102.0	104.67	105.67	106.07	102.7		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
りんくう総合医療センターの他医療機関から紹介を受けて受診した患者と救急車で搬送された患者の初診患者数に対する割合を示している。この指標により地域と連携した医療体制が充実されているかが分かる。		りんくう総合医療センターの中期目標値		様々な情報の共有を図り、地域病院、診療所との連携を強化している。結果、前年の紹介率を維持した。			
③ 成果指標 3		救急外来患者数					
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	10,905.0	10,760.0	12,061.0	12,800.0	12,800.0		
実績値	10,905.0	10,760.0	12,061.0	12,720.0	12,531.0		
達成度	100.0	100.0	100.0	99.38	97.9		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
救急は3交代制の常時受け入れ体制としており、平成28年10月からは救命救急センターの医師が救急責任当直を担当しプライマリー医師と協働で診療する体制を構築し、緊急の重症患者を受け入れる。この数値で、24時間3交代制での救急医療体制の充実が分かる。(H27年度までの第1期中期計画までは、医師勤務時間外の時間外救急搬送患者を指標。平成28年度以降の第2期中期計画では、24時間体制から時間外概念なくなったため本指標に変更)		りんくう総合医療センターの目標値。全年度実績及び他医療機関救急体制との相関により設定。		2次救急にも原則的に救命救急センターの医師が救急責任当直を担当し、緊急の重症患者を受け入れる等している。前年度を若干下回る結果となる。			
④ 成果指標 4		患者の満足度					
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	98.5	98.5	96.0	94.5	85.3		
実績値	95.7	94.1	93.3	82.6	87.5		
達成度	97.16	95.53	97.19	87.41	102.58		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
りんくう総合医療センターの外来患者及び入院患者に対するアンケートでの大変満足・やや満足の割合を把握することで医療体制の充実度がわかる。H29年度より民間企業が実施する参加医療機関内でベンチマークが出来る調査方法に変更したことにより質問項目や回答基準が変更となったため、指標を外来入院別の総合評価項目である「当院を親しい人にすすめようと思うか？」にし「すすめる・まあまあすすめる・どちらとも言えない・あまりすすめない・すすめない」の5段階評価の平均点を100点換算して算出することとした。		患者の意見を参考に少しでも満足度を高めるため設定しているが、近年の実績を踏まえ、H26年度以降の目標値を98.5%に変更した。また、H28年度からの第2期中期計画策定に際して、毎年度の目標値の設定に変更することとした。左記に記載のとおり、目標指標の評価方法を変更したことにより、H29年度実績をふまえH30度の目標値を修正する。		定期的なアンケートを実施。アンケート記入者の主観で左右。			
⑤ 成果指標 5		休日診療所の年間診療時間					
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	650.0	650.0	770.0	794.0	794.0		
実績値	644.0	650.0	770.0	794.0	794.0		
達成度	99.08	100.0	100.0	100.0	100.0		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
休日診療所の年間診療時間を把握することで、市民が受診できる救急医療体制の充実度がわかる。		H28年度より、従来の土曜日準夜間及び日祝、年末年始に加え、平日夜間(木曜日)の診療を追加した診療時間としている。		土曜日は午後6時から午後9時まで、休日は午前10時から午後5時まで診療。平成28年6月から木曜日の午後8時から午後11時まで診療開始のため増加。暦次第で増減する指標となっている。			

図表

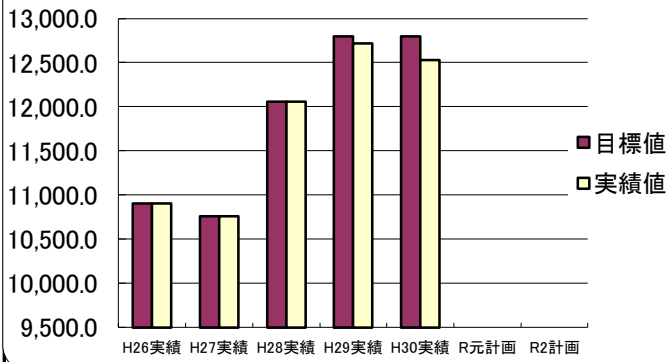
成果指標①



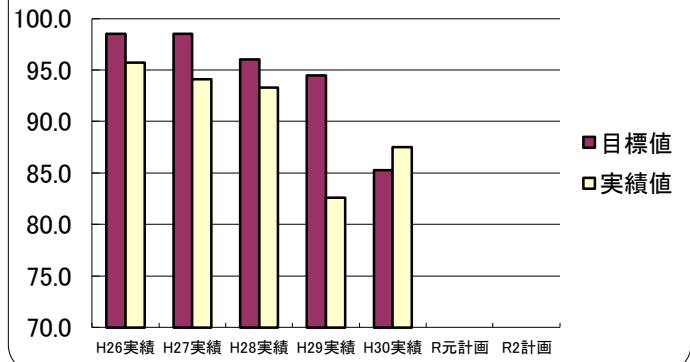
成果指標②



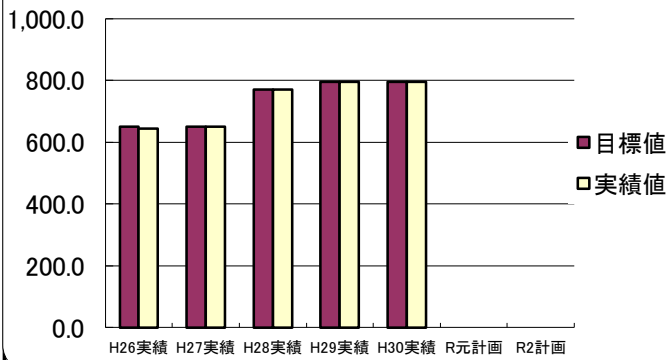
成果指標③



成果指標④



成果指標⑤



6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 3	りんくう総合医療センターは財務や医療職の人材確保など運営に課題はあるものの、その解決に取り組みながら、医療水準の向上に努めている。休日夜間診療については、特に小児科医の確保が困難になってきているが、各機関の協力を得ながら、規定時間の診療を確保できた。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 3	必要性の高い施策であると考えられ、救急を含めた地域医療体制が確保された。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	休日夜間診療においては、医師不足により、現状の運営体制を維持するのも困難な状況にあるが、医師会、近隣の中核病院等とも連携を図り、医師確保していく必要がある。H26年度にりんくうタウンに泉州南部初期急病センターを移設。一次・二次・三次救急医療の体制強化を図っていく。
	合計点	(10点中) 9点	
総合評価	A	りんくう総合医療センターは、厳しい経営環境に置かれながらも、地域医療の拠点として、地域の医療機関等と連携強化を図り、高度医療を提供している。また、泉州南部初期急病センターは、地域の初期救急拠点としての役割を担うが、協力医師の確保、平日夜間の診療開始が課題であり、今後体制強化に努めていかなければならない。	
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)	B	引き続き、地域における医療体制の維持及び経営収支改善に努めること。	
三次評価 (理事者による評価)	B	引き続き、地域における医療体制の維持及び経営収支改善に努めること。	

7. 施策を構成する事務事業						
	予算コード	事務事業名	H30年度決算額			一次評価
			人件費	事業費	一般財源	
1	01027100	地域医療推進事業	352	26,300	26,300	B
2	01027110	泉州医療圏二次救急医療対策事業	88	4,020	4,020	B
3	01083070	初期急病センター運営事業	3,695	70,989	326	B
4	01083080	初期急病センター施設管理事業	2,813	4,519	4,498	B
合計			6,948	105,828	35,144	